

履修方法

1. 修士課程 政治学コース

- (1) 入学後、学生は出願の際に届け出た研究領域に所属する教員と協議して、第一学年の始めにメイン・アドバイザー 1 名を選定する。このときサブ・アドバイザー 1 名を選ぶことができる。
- (2) 論文の作成、研究一般については、メイン・アドバイザーおよびサブ・アドバイザーによる個別指導、および研究領域の教員による合同指導に従うこと。
- (3) 修士の学位を取得しようとする者は、修士課程に 2 年以上在学し、所定の授業科目について 32 単位（社会人入学試験による入学者は 30 単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、社会人入学試験による入学者の在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については政治学研究科運営委員会が認めた場合に限り、1 年以上在学すれば足りるものとする。
- (4) 前項の 32 単位（社会人入学試験による入学者は 30 単位）は通常次の区分によって履修する。

区分		一般	社会人入試により入学者
共通基礎科目	必修	6 単位	6 単位
	選択	2 単位以上	0 単位以上
演習科目		8 単位	8 単位
専門研究科目		4 単位以上	4 単位以上
その他		0 単位以上	0 単位以上
合計単位数		32 単位	30 単位

- (5) 在学中、他研究科に設置された授業科目を選択履修した場合は、10 単位を上限として所定の単位に替えることができる。

2. 修士課程 国際政治経済学コース

- (1) 入学後、学生はコースに所属する教員と協議して、第一学年の始めにメイン・アドバイザー 1 名を選定する。このときサブ・アドバイザー 1 名を選ぶことができる。
- (2) 論文の作成、研究一般については、メイン・アドバイザーおよびサブ・アドバイザーによる個別指導、およびコースの教員による合同指導に従うこと。
- (3) 修士の学位を取得しようとする者は、修士課程に 2 年以上在学し、所定の授業科目について 32 単位（社会人入学試験による入学者は 30 単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、社会人入学試験による入学者の在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については政治学研究科運営委員会が認めた場合に限り、1 年以上在学すれば足りるものとする。
- (4) 前項の 32 単位（社会人入学試験による入学者は 30 単位）は通常次の区分によって履修する。

区分		一般	社会人入試により入学者
共通基礎科目	必修	8 単位	8 単位
	選択	0 単位以上	0 単位以上
演習科目		8 単位	8 単位
コア科目		1 2 単位以上	1 2 単位以上
その他		0 単位以上	0 単位以上
合計単位数		3 2 単位	3 0 単位

- (5) 在学中、他研究科に設置された授業科目を選択履修した場合は、1 0 単位を上限に所定の単位に替えることができる。

3. 修士課程 ジャーナリズムコース

- (1) 入学後、学生はコースに所属する教員と協議して、第一学年の始めにメイン・アドバイザー 1 名を選定する。このときサブ・アドバイザー 1 名を選ぶことができる。
- (2) 論文の作成、研究一般については、メイン・アドバイザーおよびサブ・アドバイザーによる個別指導、およびコースの教員による合同指導に従うこと。
- (3) 修士の学位を取得しようとする者は、修士課程に 2 年以上在学し、所定の授業科目について 3 2 単位（社会人入学試験による入学者は 3 0 単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、社会人入学試験による入学者の在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については政治学研究科運営委員会が認めた場合に限り、1 年以上在学すれば足りるものとする。
- (4) 前項の 3 2 単位（社会人入学試験による入学者は 3 0 単位）は通常次の区分によって履修する。

区分		一般	社会人入試により入学者
共通基礎科目	必修	4 単位以上	4 単位以上
	選択	0 単位以上	0 単位以上
演習科目		4 単位以上	4 単位以上
コア科目（理論）		8 単位以上	8 単位以上
コア科目（実践）		6 単位以上	0 単位以上
その他		0 単位以上	0 単位以上
合計単位数		3 2 単位	3 0 単位

- (5) 在学中、他研究科に配置された授業科目を選択履修した場合は、1 0 単位を上限に所定の単位に替えることができる。

4. 博士後期課程

- (1) 入学後、学生は出願の際に届け出た研究領域に所属する教員と協議して、第一学年の始めにメイン・アドバイザー 1 名を選定する。このときサブ・アドバイザー 1 名を選ぶことができる。
- (2) 論文の作成、研究一般については、メイン・アドバイザーおよびサブ・アドバイザーによる個別指導、および研究領域の教員による合同指導に従うこと。

- (3) 博士の学位を取得しようとする者は、通常 3 年以上在学し、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。